

多 度 津 町 経 済 動 向 調 査

《第1四半期(2018年7-9月) 調査結果》

1. 調査期間 2018年9月4日～20日

2. 調査対象 会員42企業に調査票配布(回収32企業 回収率76.2%)

	製造	建設	卸売	小売	サービス
調査対象	12	9	4	8	9
有効回答	10	7	3	6	6

3. 調査項目 今期(h30.7~9月)を基準に前年同期比、来期予測を今期比にて業況・売上高・採算・仕入単価・従業員・資金繰りの項目について調査。

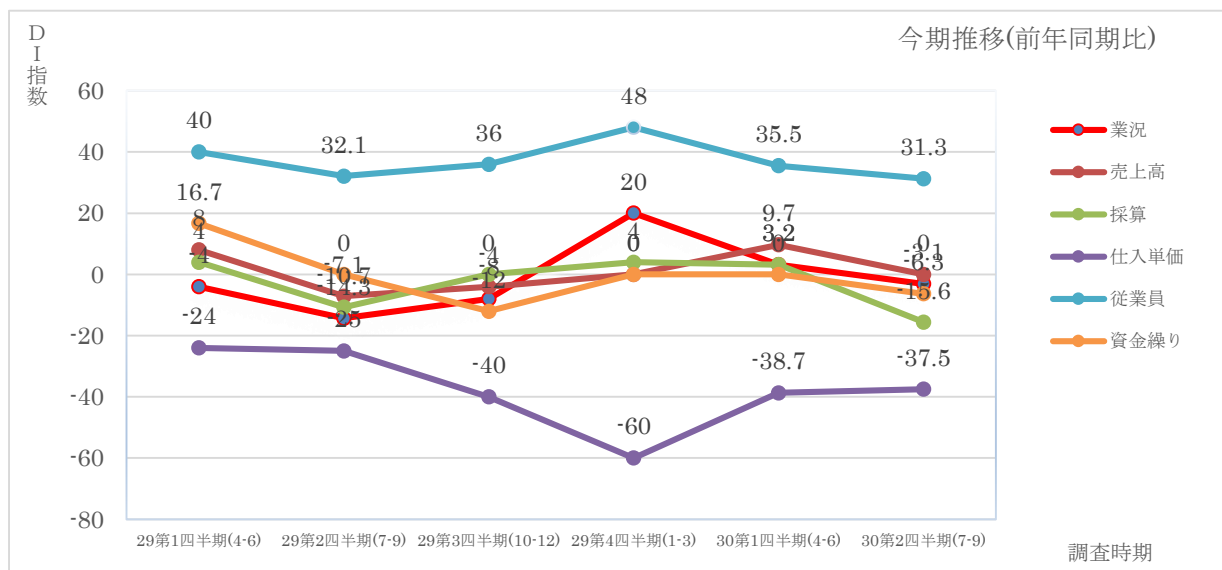
※DI指数は、景況判断状況を表すもので増加・好転などの回答割合から減少、悪化などの回答割合を差し引きし、ゼロを基準としてプラス値で景気の上向き、マイナス値で景気の下向きを表す。

4. 全産業(DI指数分析)

業況は小幅ながら2期連続の悪化、先行き(来期)は、悪化を見込む。

業況DI▲3.1(前期比6.3ポイント悪化↓)、売上高DI0(前期比9.6ポイント悪化↓)、採算DI▲15.6(前期比18.9ポイント悪化↓)、仕入単価DI▲37.5(前期比1.2ポイント改善↑)、従業員DI31.3(前期比4.3ポイント人手不足感減少↓)、資金繰りDI▲6.3(前期比6.3ポイント悪化↓)。

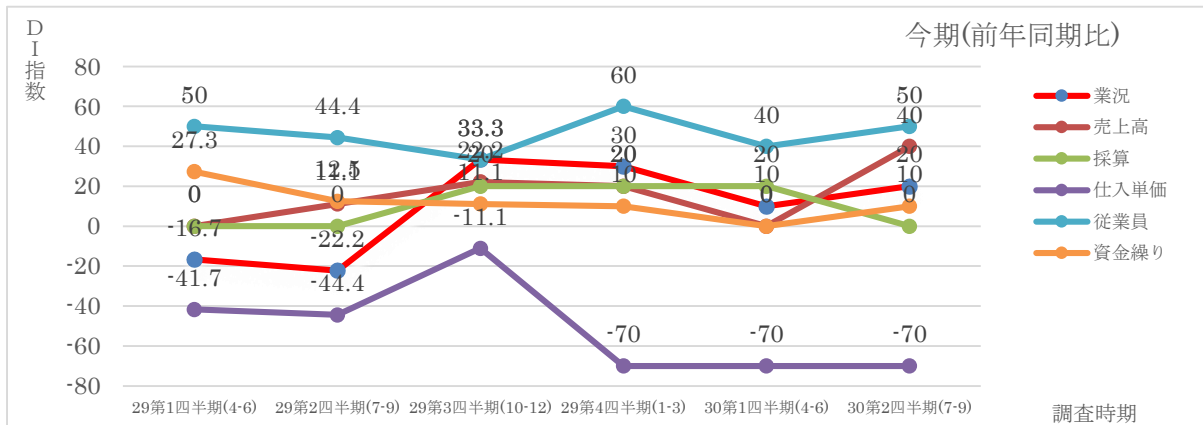
先行きの見通し(来期予測)の業況DI▲9.4(今期比6.3ポイント悪化↓)。売上高DI6.3(今期比6.3ポイント改善↑)、採算DI▲3.1(今期比12.5ポイント↑)、仕入単価DI▲34.4(今期比3.1ポイント改善↑)、従業員DI21.9(今期比9.4ポイント不足感減少↓)、資金繰りDI6.3(今期比+0ポイント横ばい→)となった。



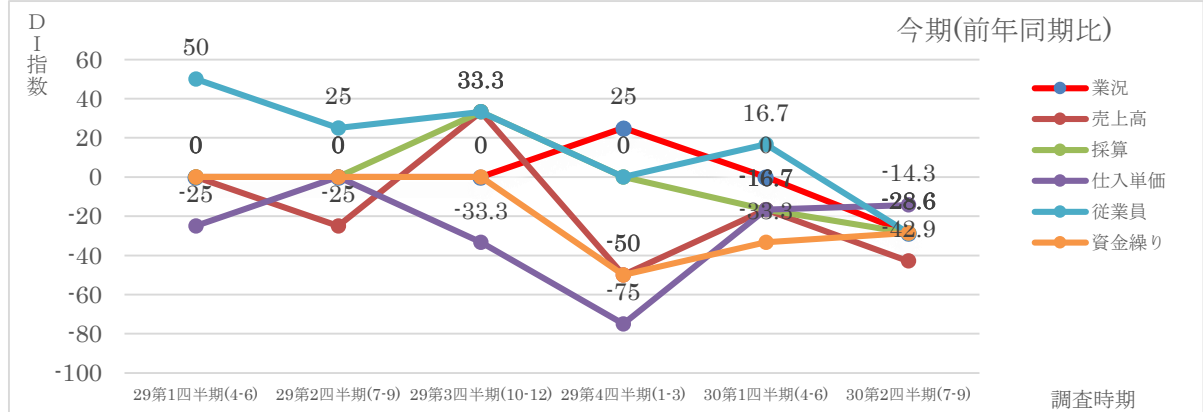
5. 業種別 (DI指数分析:前期比)

製造業は、業況10.0ポイント改善↑。売上高40.0ポイント、従業員10.0ポイント、資金繰り10.0ポイント改善。採算20.0ポイント悪化。仕入単価+0横ばい。建設業は、業況28.6ポイント悪化↓。売上高26.2ポイント、採算11.9ポイント悪化。仕入単価2.4ポイント、従業員11.9ポイント、資金繰り4.7ポイント改善。卸売業は、業況66.6ポイント悪化↓。売上高、仕入単価+0ポイント横ばい。採算66.6ポイント、従業員66.7ポイント、資金繰り66.6ポイント悪化。小売業は、業況16.6ポイント悪化↓。仕入単価-0.1ポイント横ばい。売上高83.3ポイント、採算33.3ポイント、従業員16.6ポイント、資金繰り33.3ポイント悪化。サービス業は、業況33.3ポイント改善↑。採算16.7ポイント、資金繰り16.7ポイント改善。売上高-0.1ポイント、仕入単価+0ポイント、従業員+0ポイント横ばい。

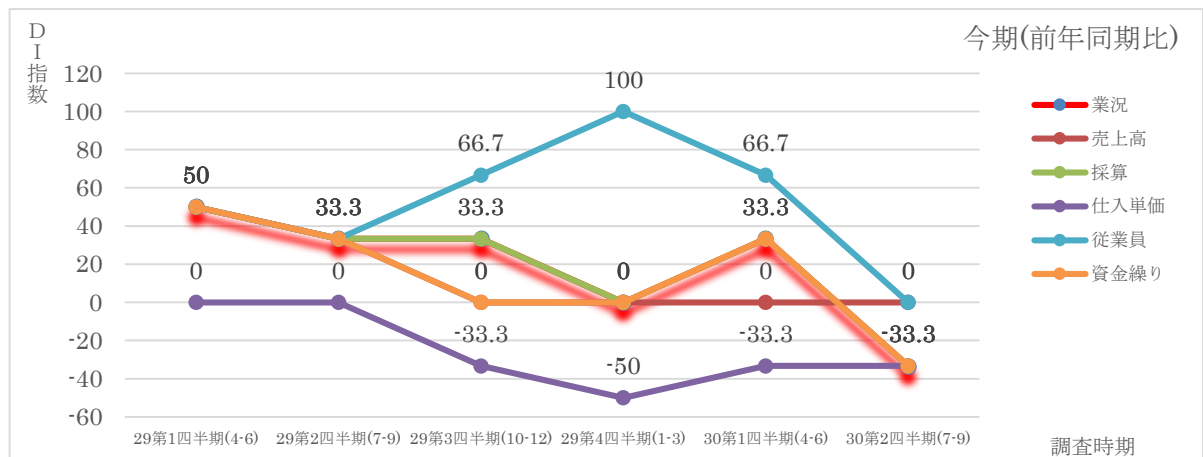
製造業



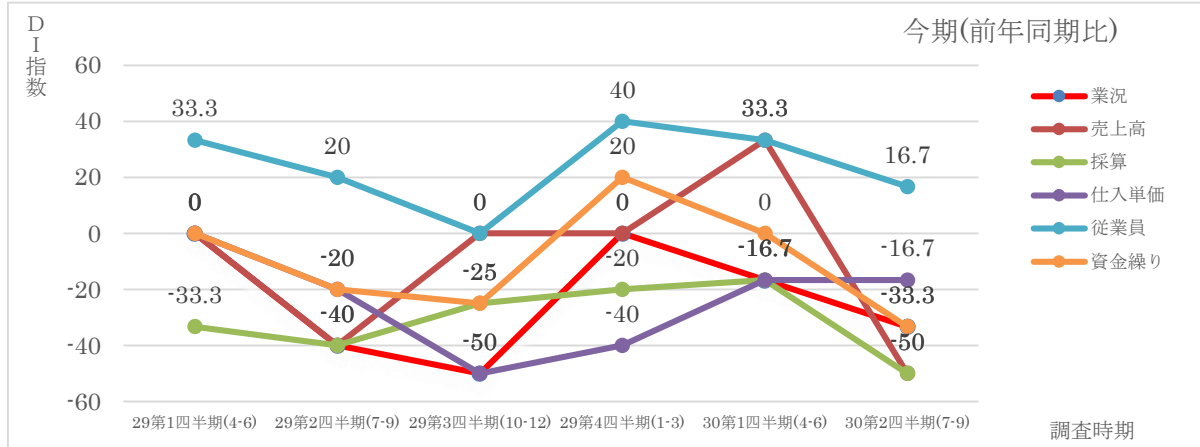
建設業



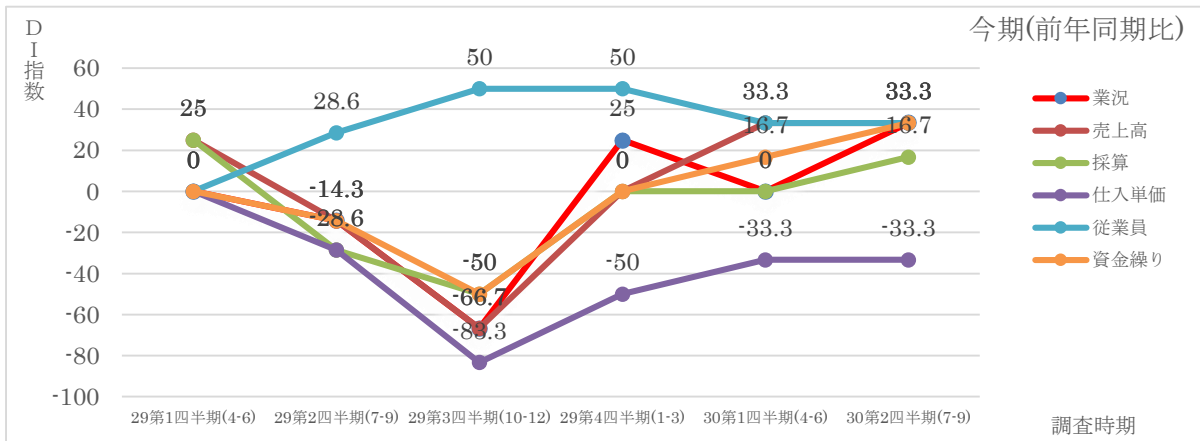
卸売業



小売業



サービス業



【業況感等コメント】

- 設備投資に関しては、上向いていると思われるが、当社事業にまでは波及していない。地域格差、企業間格差が大きくなっていると思われる。 (製造業)
- 原材料の高騰により原価の大幅なアップとなっているが、市況も悪く価格転嫁できていない。同業他社についても同様であり、今後の需要の落ち込みに向けシェア確保が優先されている。 (製造業)
- 多度津第三工場を建設中で新年度より本格稼働する予定で進行している。 (製造業)